36

株式会社 アラセ

http://www.arase.co.jp/



さまざまなオリジナル商品を展開

技術力でアイデアを形に オンリーワンの提案を目指す

平成29年度 補助事業と具体的成果

事業テーマ

新鋭設備の導入で生産体制を強化、多様な顧客の要望に対応

事業概要

「ものづくり補助金」を活用して最新鋭の設備を導入。平成28年にレーザー彫刻機を２台、同29年にはＵＶ印刷機１台を新たに設置した。これらを活用してオリジナルグッズの展開を加速している。新たに導入したＵＶ印刷機では、良質な軟質インクを使用できるため、素材を問わず割れや剥がれが発生しない印刷が可能となった。オリジナルグッズは年間を通して安定的な需要が見込めるため、同社全体の生産標準化が実現。今後は事業の力点をオリジナルグッズ製作へシフトし、販売拡大を目指す考えである。



新たなＵＶ印刷機で幅広く対応

課題	取組	成果
●生産体制の強化	●レーザー彫刻機を導入	●質の高い生産が実現
●商品バリエーションの拡充	●ＵＶ印刷機を導入	●軟質素材への対応力が向上

業務内容

オリジナルな表札や看板・銘板を提供

一般の住宅用をメーンに、店舗や工場などの施設に向けたさまざまな表札や看板・銘板を製作し、施工までを行う。ステンレスへのエッチング加工を得意とし、タイルへのサンドブラスト加工、またタイルにステンレスのモチーフを浮かし付けする加工など、多様な技術とアイデアで顧客の幅広い要望に応えている。

また、タイルにステンレスフレームを貼り付けた「アイアンフレーム表札」やエッチング加工する「ステンレス梨地表札」が同社の主力製品となっている。

キャラクターをデザインしたオリジナルグッズも展開

サンリオキャラクターをデザインに取り込んだ表札も、同社独自の製品として注目される。使用ライセンスを取得し、フォトスタンドやベビー・チャイルド記念用品などオリジナルの雑貨やグッズへも展開する。インターネット販売やカタログ通販、大手生活用品店の印材コーナーでの販売などで販路を確立し、需要を喚起している。

最新鋭設備の導入により、オリジナルグッズ製作における生産スピードと対応力が大幅に向上した。ここ最近は軟質素材などを使用したオリジナルグッズへのニーズが多様化しており、扱える製品バリエーションが拡大したことで、同社が掲げる理念「こだわりを形に変える！」「オンリーワンを目指す！」が実現可能となった。



施設用の表札も好評

強みとビジョン

アイデア・デザイン力・設備を活用し需要を喚起

アイデアとデザイン力が自慢の同社。デザイン起こしから製造まで社内で一貫対応できるのが強みである。この強みを生かし、他社ではできないものを提供できるオンリーワンのものづくり企業を目指していく。顧客満足度を高める商品開発に磨きをかける考えだ。



アイデアを形にする

スタッフの多くが女性という。荒瀬勝行社長は「女性のアイデアが商品開発を底上げしている。子育て中の女性でも働きやすい職場環境を心がけており、人材の流出はない」と強調する。現状の人員体制で各ポジションを整えており、新たな人材確保は考えず、現有体制で技術をブラッシュアップしていく方針である。

スマホケースの需要増をビジネスチャンスに

一方、軟質素材のオリジナルグッズではソフトカバーのスマホケースの需要増が見込めるため、デザインバリエーションの拡大に取り組む。また、新たなＵＶ印刷機とレーザー彫刻機を導入したことで生地や木材への印刷が可能となったため、和風デザインを中心としたインバウンド向け土産グッズの展開も視野に入れる。アイデア・デザイン力・最新鋭設備を活用し、幅広く需要を喚起していく。



レーザー彫刻機を活用

創造力を武器にこだわりを形にする



デザインやアイデアなど創造力には自信があります。これを武器に他社ではできない独創的な商品を提案していきたいと考えています。目指すのはオンリーワンのものづくり企業です。



代表取締役社長
荒瀬 勝行

- **社　名**　株式会社 アラセ
- **代表者**　代表取締役社長　荒瀬 勝行
- **住　所**　〒581-0091 八尾市南植松町3−13−7
- **ＴＥＬ**　072−994−1209
- **ＦＡＸ**　072−994−0574
- **資本金**　10,000千円
- **従業員**　14名

- **主な取引先**　通販業者、印材業者、建築資材メーカー、内覧会業者など
- **主な保有設備**　ＵＶ印刷機、レーザー彫刻機、エッチングマシンなど
- **主力製品**　薄表札、看板、ベビー・チャイルド記念品

短納期　企画力　小ロットOK　オンリーワン技術　量産OK　海外対応

REPORTER'S EYE

スタッフの多くが女性である同社。強みであるデザイン力とアイデアは、これが源泉だろう。ただ、これまでの設備ではこのアイデアを形にすることに限りがあった。しかしながら「ものづくり補助金」を活用して新たに導入した設備により、技術力が大きく向上。アイデアの具現化に大きな弾みがついた。今後は製品バリエーションのさらなる拡大に拍車がかかるだろう。同社が掲げる“オンリーワンの提案”の加速に期待がかかる。